



# I 院長 卷頭言

# 巻 頭 言

院長 永野 功

このたび、国立病院機構宮城病院の令和元年度の年報・業績集を刊行することになりました。この年報には当院の令和元年度の歩みが記されております。

この年は当院の創立80周年の記念すべき年であり、これを契機に80周年記念誌を編纂して各位に配布し正面玄関前には白梅紅梅の記念植樹を行いました。

当院の基礎は、昭和14年(1939年)に創設された傷痍軍人宮城療養所です。終戦後は、当時国民病であった結核患者の療養所として大きく発展し、同時に重症心身障害児(者)医療などの政策医療を進めてきました。その後は、脳神経系の専門病院として脳卒中や神経難病の診療に重心を移し、近年では地域医療に力を入れております。

地域への医療活動の一環として、令和元年度に訪問看護ステーションを設置して訪問看護活動を本格的にスタートさせました。令和2年4月からは訪問リハビリテーションも始めています。同じく4月からは、山元町から受託した「宮城病院地域包括支援センター」を開所し、町民の皆様へ福祉サービスの提供を始めました。

宮城病院は歴史のある病院ですが、関係各位のご指導ご鞭撻を受けながら、常に新しいことにチャレンジしています。当院の職員も「よい医療を安全に、心をこめて」の理念のもと、先輩たちから受け継いだ火を絶やさぬよう日々の活動に邁進しています。本年報でその一端に触れていただければ、幸甚の至りです。

最後に、本年報・業績集に原稿をお寄せくださった方々と、編纂に当たった関係各位に深謝申し上げます。



## 基本理念

「良い医療を安全に、心をこめて」

## 行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。